

(11) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(13) 実用新案出願公開番号

実開平 6-56310

(42) 公開日 平成 6 年 (1994) 8 月 5 日

(51) Int. Cl.

E04F 15/04

B27M 3/04

特許記号

庁内登録番号

F I

技術表示箇所

F 7803-2E

2101-2B

特許請求の範囲 請求項の点 I F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平 5 2838

(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 1 月 7 日

(71) 出願人 000204985

大達工業株式会社

富山県富山郡波田町波田 1 番地の 1

(72) 発明者 山上 浩

大阪府北区中之島 2-3-18 大達工業株式会社内

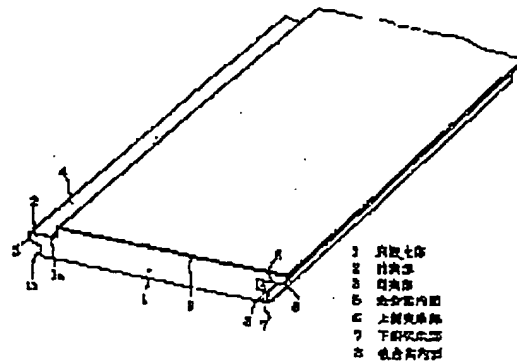
(73) 代理人 弁護士 山本 孝

(54) 【考案の名称】 床 板

(57) 【要約】

【目的】 組立床板の組合が円滑に行われて施工性に優れた床板を提供する。

【構成】 床板主体 1 の一端部中央に突設した組立部 2 の先端面を上端から下面中央部に向かう円弧状の嵌合案内面 5 に形成すると共に組立部 2 の上面を組立の嵌合平坦面 4 に形成する一方、他端部中央に凹設した組立部 3 の上側突条部 6 を下側突条部 7 よりも大きく突出させると共にその突出端面を円弧状の嵌合案内面 6 に形成した溝油を有し、先に施工した床板の組立部 2 の嵌合平坦面 4 上に次に施工する床板の組立部 3 の上側突条部 6 の円弧状嵌合案内面 6 を当接させ且つ下側突条部 7 の先端を組立部 2 の円弧状嵌合案内面 5 に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



【発明の要旨を簡明に説明する】

【請求項1】 一定厚みを有する長方形状床材主体の一側端面の中央部に雄突部を、他側端面の中央部に雌突部が嵌合可能な形状を有する雄突部を夫々設けてなる床材において、雄突部の上面突出部を下面突出部よりも幅広い嵌合平坦面を形成すると共に雌突部の突出部の上面から雄突部の下面間を斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面を形成し、さらに、雌突部の上下突条における上側突条部を下面突出部よりもその突出部を長く形成していると共にその突出部を上面から雄突部の開口上端縁に向かって斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面に形成していることを特徴とする床材。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の床材の一部を欠出した斜視図。

【図2】 その底面正视图。

【図3】 施工状態を示す断面図。

【図4】 嵌合した状態の断面図。

【図5】 従来例を示す断面図。

【図6】 その施工状態を示す断面図。

【図7】 他の構造を有する従来例の断面図。

【符号の説明】

- 1 床材主体
- 2 雄突部
- 3 雌突部
- 4 広幅嵌合平坦面
- 5 嵌合案内面
- 6 上側突条部
- 7 下側突条部
- 8 嵌合案内面

